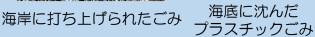
海ごみ」について考えよう!

海ごみとは、漂流ごみ(海を漂っているごみ)や、 **漂着ごみ**(海岸に流れ着いたごみ), 海底ごみ(海 底に沈んだごみ)のことです。海ごみのなかでも特 にプラスチックごみは、世界で毎年数百万トンを超 える量が海に流れ出ており、このままでは2050年 までに魚の重量を上回ると予測されています※1。

%1 THE NEW PLASTICS ECONOMY RETHINKING THE FUTURE OF PLASTICS (エレン・マッカーサー財団、2016年







海ごみにはどんな問題があるの?

生きものへの影響

海の生きものが 海ごみをエサと 間違えて食べて しまい、死んで しまうことがあ ります。



漁業への影響

漁業者の網に海ごみが引っか かり**漁業の妨げ**になります。

特にプラスチックごみは・・・

分解されにくい

プラスチックは自然に分解されにくく,素材によっては自然分 **解されるのに数百年**もかかるといわれています。一度海ごみに なると、とても長い時間海に残り続けることになります。

マイクロプラスチック

プラスチックごみは、長い時間、海を漂う間に、太陽光や波の 力などでだんだん砕けて,**マイクロプラスチック**(5mm以下の 破片)になります。マイクロプラスチックになると**回収が困難** で、有害物質を吸着しやすいといわれており、生きものへの影 響などが心配されています。

海ごみを振らし、海を守っていくために

マイバッグや マイボトルの活用

私たちの生活の中で出たごみの一部が側溝や川などを通り、海に流れ 出て海ごみとなっています。福岡市では、市民や漁業者、行政等によ る海ごみの回収を行っています。しかし、すべてのごみを回収するこ とは難しいため、海ごみを増やさないようにすることが大切です。



- 「使い捨て」を見直し、ごみ自体を出さない生活を心がける
- 屋外でごみを放置せず、適切に処理する
- ・清掃活動に参加する

